

***** 講師のプロフィール *****

明石洋子氏 昭和 21 年生まれ 九州大学薬学部薬学科卒 薬剤師・社会福祉士

経歴等

社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長〔あおぞら共生会は無認可小規模作業所「あおぞらハウス」を平成元年に設立してから、グループホーム、サポートセンター等設立運営、現在 14 事業所を運営〕 一般社団法人川崎市自閉症協会代表理事（川崎市自閉症児者親の会会長） NPOかわさき障がい者権利擁護センター副理事長（社福）「ともかわさき」理事 川崎市特別支援教育推進検討委員会委員、川崎市障害者施策審議会委員、川崎市障害者社会参加推進協議会委員、川崎市社会福祉協議会評議員、川崎市障害者団体部会副部長、川崎市社協あんしんセンター業務監督審査会委員、川崎市知的障害者相談員、川崎市社協障害者団体部会副部長 等々

元、全日本手をつなぐ育成会編集委員・組織財政委員・評議員、日本自閉症協会企画編集委員、NPO全国障害者生活支援研究会（サポート研）理事・監事、立教大学非常勤講師、製薬会社・商社等の管理薬剤師（薬剤師業務 28 年）

現在の社会福祉法人あおぞら共生会での担当

サービス管理責任者（地域生活・児童）、相談支援専門員、第一種衛生管理者等

活動内容等

知的障害を持つ自閉症の長男の成長に合わせて、地域訓練会（親の自主訓練会）・保育園・義務教育（普通級）・高校進学へ、そして放課後は学童保育・学齢児活動、更に「アイススケート日曜学級」「夏休み水泳教室」等余暇活動を企画運営して、同年齢児や地域の人々と少しでも多く接する場と機会をつくった。働く場も地域で、さらに親亡き後も「地域で暮す」を実現するために現在も活動する。特に、心のバリアフリーとノーマライゼーション実現のための啓発を大切に、市民活動を展開している。昭和 51 年 1 月地域訓練会会長をスタートに、現在まで 40 年近く続けている。

「社会に自立」を子育ての方針にし、親亡き後の不安感は、「日中活動の場・暮らしの場・24 時間 365 日必要な時のサポート体制」この三点セットが、地域の中にあり、気軽に使えば、解消すると考え、「あおぞら共生会」（地域作業所、グループホーム、サポートセンター等運営）を平成元年に設立。現在相談支援事業含め 13 の事業を展開中。

地域作業所も街の中の八百屋さん等お店として地域と交流しながら「地域への就労拠点」と位置づけし、地域の商店や企業更に公務員への就労の道を開く。さらに、リスクの多い地域で親亡き後も暮すには、人権擁護が必須と、平成 21 年 4 月「NPOかわさき障がい者権利擁護センター」を川崎の 5 つの親の会で設立し、副理事長として成年後見虐待防止等権利擁護活動中。平成 21 年から PandA—J「大門明石塾」で、成年後見含め権利擁護システム等を研究中。

著書等 「ありのままの子育て」「自立への子育て」「お仕事がんばります」(ぶどう社) 発刊(韓国で呼び中国で翻訳版3冊及び韓国でコミック3巻も出版)。薬剤師の職能を生かして、「からだ!!げんき!?(全日本育成会) 発行。その他全日本育成会の情報誌「手をつなぐ」の編集委員(4年間)として原稿多数掲載。その他、発達障害者支援法ガイドブック(河出書房新書発行)、自閉症ガイドブック(日本自閉症協会発行)等共著での著書も多数。保育学会誌や「小児科臨床」「実践成年後見」、「臨床心理学」等の学会誌などに論文多数掲載。

テレビ出演等

- ①NHK 総合TV 新日本探訪「笑顔で街に暮らす」(25分) 1999年11月21日放送
- ②NHKB S : 列島スペシャル「お仕事がんばります」(50分) 2000年2月20日放送
- ③NHK総合: 朝の番組「生活ほっとモーニング」の生放送に50分出演 その中で、ドキュメント(記録)映像: 「てっちゃん便りから始まった」(約25分を、生番組中に2回に分けて放送)
- ④読売TVニュース番組: リアル特集「自閉症と共に生きる」。内容は、鹿児島県ソロプチミスト協会
(女性経営者の会) 30周年講演会での徹夜の講演風景と川崎での仕事ぶり(約8分)
- ⑤韓国放送公社日曜スペシャル「幸福なレインマン走って世の中に」(60分) 2003年3月放送
- ⑥NHK教育TV土よう親じかん「クラスメートは発達障害」(30分) 平成20年5月17日放送
- ⑦NHK総合TV首都圏ネットワーク特集「発達障害とともに」5日間シリーズ
「自立を温かく見守って」(11分) 21年4月10日放送(その後3回放送)
- ⑧NHK総合TVおはよう日本(全国放送)「発達障害の公務員の自立」(11分) 21年4月18日放送
- ⑨ローカルTV iTSCOMニュース 「ようこそ自閉症ワールドへ」(4月2日のイベント風景)(4分)
21年4月7日放送

日本、アメリカ、韓国、中国で講演多数。各講演会の様子が、地元の新聞やニュースで放送された。

賞罰等

『第4回ヘルシー・ソサエティ賞』(受賞者4名)のボランティア部門賞を20年2月26日受賞(帝国ホテルで、常陸宮殿下妃殿下ご臨席、高村外務大臣等3大臣列席、400人の祝賀会開催)、文藝春秋(5月号)やLEE(5月号)クロワッサン(4月25日特大号)など一般誌各誌にも広くその活動内容がとりあげられた。

平成23年12月3日の障害者の日の市民の集いで、「川崎市市長賞」受賞。

平成24年12月6日、厚生労働大臣賞受賞(厚労省にて)。皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁。

連絡メールは、明石洋子個人 メールアドレスへ brightstone@rainbow.dti.ne.jp

*参考 明石徹之氏 (昭和47年生まれ 川崎市立川崎高校卒 川崎市職員)

川崎市立小倉保育園、川崎市立小倉小学校(1年)・佐賀市立赤松小学校(2年)・
佐賀市立北川副小学校(3年～6年) 小学校は普学級、川崎市立日吉中学校(特殊学級)、
川崎市立川崎高校(定時制4年) 平成4年3月卒業

平成3年10月川崎市職員一般職試験受験 平成4年1月合格通知 (1年半待機)

平成5年7月1日採用 清掃局堤根処理センター、平成10年4月～健康福祉局「多摩川の里」、
平成16年4月～同「長寿荘」、平成21年4月～現在 4ヶ所目の職場「川崎市夢見ヶ崎動物
公園」勤務